CareerCross by JAC Recruitment

OIST 沖縄科学技術大学院大学

【世界的な研究機関の施設環境をサポート】マリーンステーションテクニシャン

外国人職員・研究員が多く所属する国際色豊かな職場環境。赴任手当あり。

Job Information

Hiring Company
Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University

Subsidiary
沖縄科学技術大学院大学（OIST）

Job ID
1447156

Industry
Education

Company Type
Large Company (more than 300 employees)

Non-Japanese Ratio
About half Japanese

Job Type
Contract

Location
Okinawa Prefecture, Kunigami-gun Onnason

Salary
2.5 million yen ~ 5 million yen

Work Hours
月～金　09:00 - 17:30

Holidays
土日祝日・年末（12/29-1/3）

Refreshed
May 21st, 2025 06:00

General Requirements

Minimum Experience Level
Over 3 years

Career Level
Mid Career

Minimum English Level
Business Level (Amount Used: English usage about 50%)

Minimum Japanese Level
Daily Conversation

Minimum Education Level
Bachelor's Degree

Visa Status
Permission to work in Japan required

Job Description

OISTコアファシリティ（OIST Core Facilities）海洋科学セクション（マリンサイエンスセクション）では、OISTの海洋科

学研究をサポートする意欲的な技術者を募集しています。本職務は、2016年に瀬良垣港に開設されたマリンサイエンスステーションを主な拠点とする予定です。セクションの運営全般をサポートしていただく予定です。主な業務は、マリンサイエンスステーションの効率的かつ信頼性の高い運用を維持することです。

職責

1. マリンサイエンス・ステーション内の安全な作業環境の確保
2. マリンサイエンス・ステーションの主要設備（揚水設備、浄水設備など）の維持管理。
3. 各セクションの機器・設備のメンテナンス
4. 機器ベンダーと連携した保守・開発・トラブルシューティングの実施
5. セクションの機器・設備の効率的なトレーニングおよび使用のための標準的なトレーニングプログラム、マニュアル、プロトコルの作成
6. 研究支援、設備保守、安全に関する優れた実績を維持する
7. OISTマリンサイエンスステーションにおける新しい実験やユーティリティのセットアップを支援し、助言を行う。
8. OISTキャンパスへの海水搬入を支援・取りまとめ
9. ステーションを清潔で整理整頓されたワークスペースとして維持すること
10. 機器の仕様書作成、メーカーやベンダーとの連絡などにより、研究者のニーズに基づく機器の購入・調達をサポートする
11. 消耗品の在庫管理
12. コアファシリティの横断的な連携に参画する。
13. その他、セクションリーダーから指示された業務

Required Skills

1. 機械工学 または海洋工学のバックグラウンドがあること。 養殖または水族館管理の経験があることが望ましい。
2. 常に最先端の技術水準を維持するため新しいスキルを習得する能力
3. 英語でのコミュニケーション能力に優れていること。日本語でのコミュニケーション能力があると尚可。
4. 高い問題解決能力
5. チームの一員として働く能力
6. 現地の文化や急速に変化する職場環境に適応できること

Company Description

沖縄科学技術大学院（OIST：www.oist.jp を参照）は、沖縄県にある、革新的モデルを目指す科学技術に特化した大学院大学です。本学は、85ヘクタールの敷地に広がる大自然の中に設立され、美しい海岸とサンゴ礁を見下ろす場所に位置します。キャンパスは建築学的観点から見ても印象的なこだわりが施され、その自然の中にある大学施設を際立たせています。学部の壁を作らないことで、学際的な研究成果を生み出せる環境を提供し、また学内の誰もが、最高水準のリソースへのアクセスと研究機器の利用が可能で、共同研究に生かせるような仕組みを整えています。学内では英語を公用語とし、50ヵ国以上から集まる研究者コミュニティは真の国際性を保持しています。OISTは、教育および研究における卓越したモデルとして、世界の学術界からの認知度が急速に高まっています。